

k8s-monitoring

1.kubernetesのデフォルトダッシュボードを使う

デプロイ

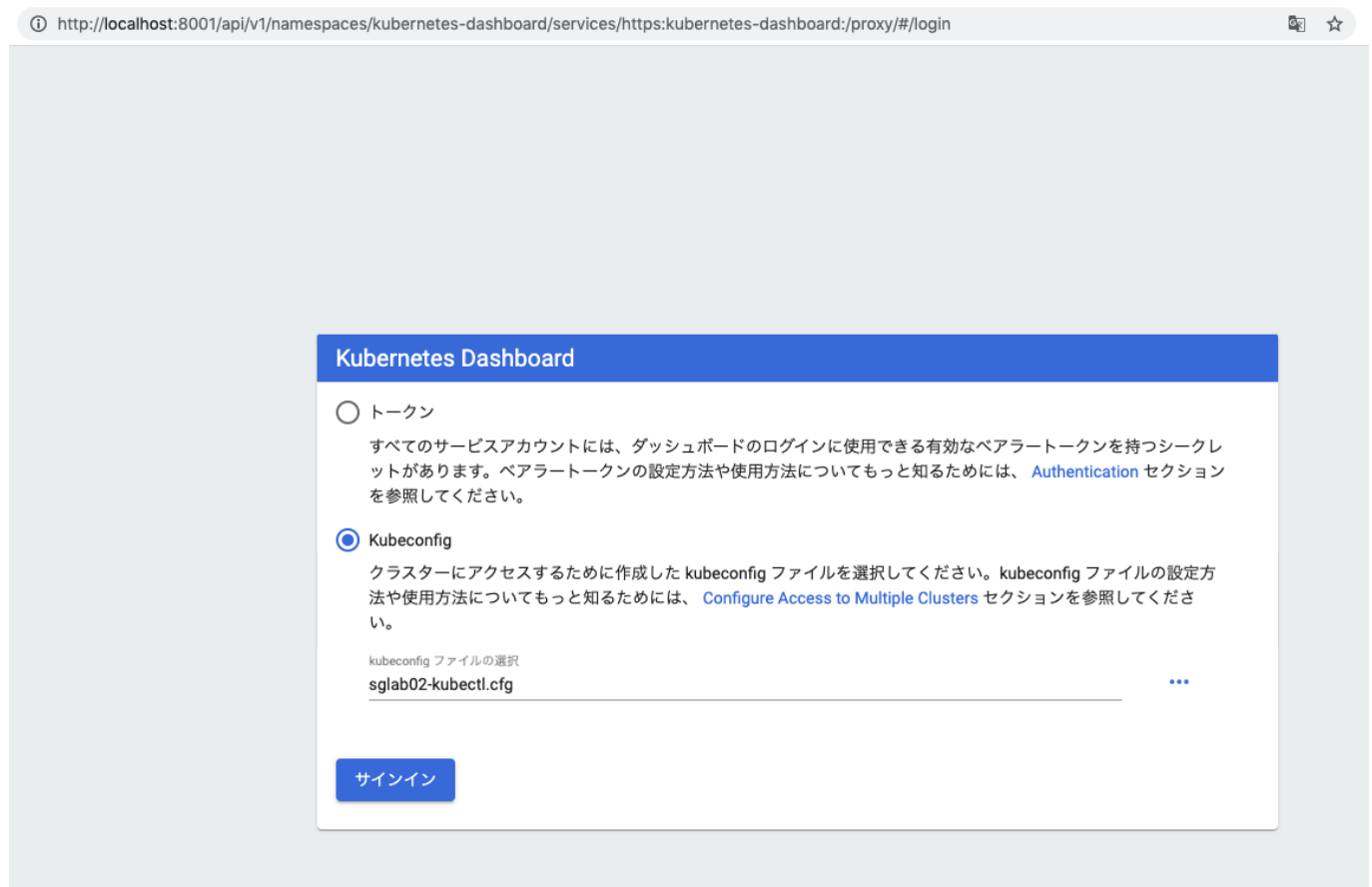
```
kubectl apply -f  
https://raw.githubusercontent.com/kubernetes/dashboard/v2.0.0/aio/deploy/recommended.yaml
```

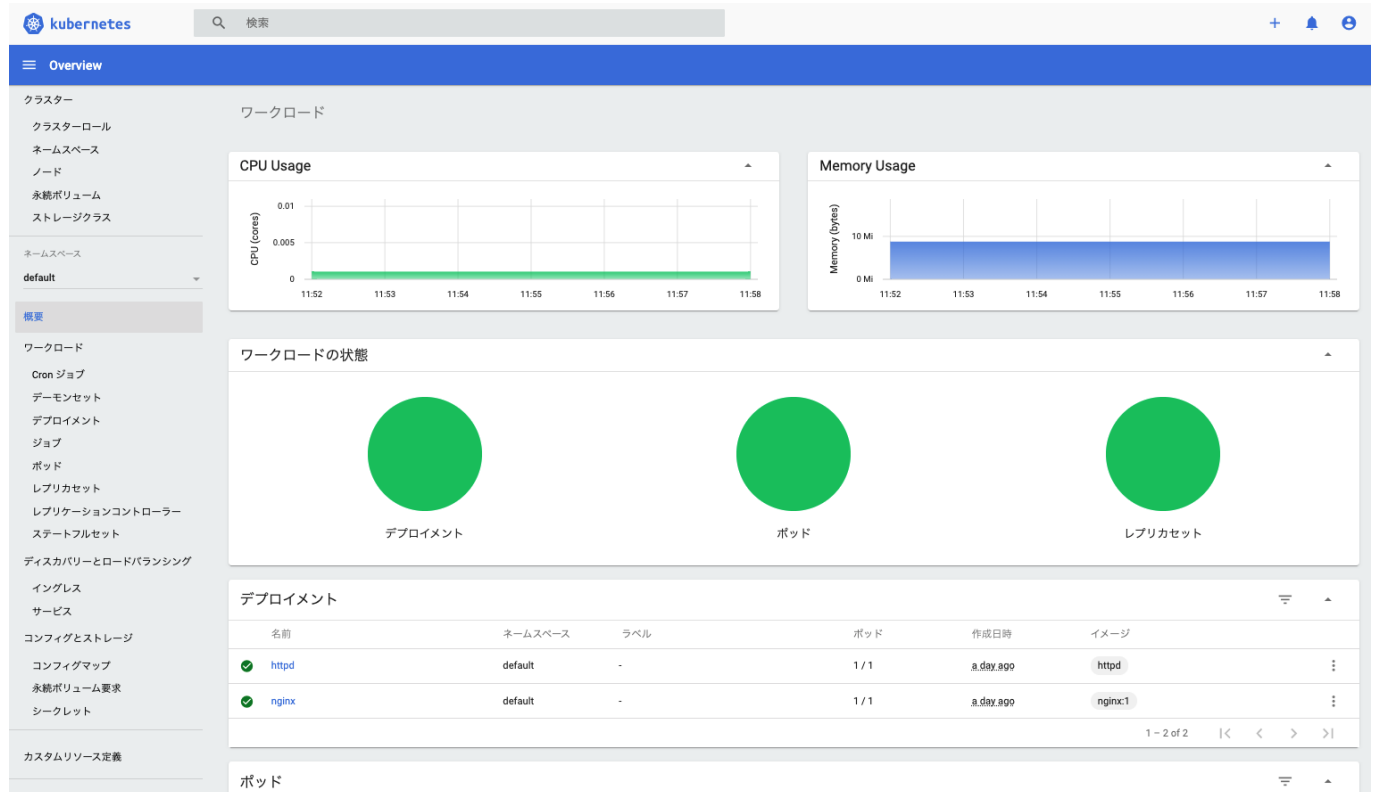
プロキシを起動

```
kubectl proxy
```

ブラウザでダッシュボードにアクセス

<http://localhost:8001/api/v1/namespaces/kubernetes-dashboard/services/https:kubernetes-dashboard:/proxy/>





2. LENSを使う

Lensとは

（レンズ）は Kubernetes クラスターの運用管理ツールです。「Kubernetes のための IDE」（統合開発環境）と銘打っていますが、これで開発をするわけではなく、IDE 的な網羅性のあるデスクトップ用の管理ツールという意味のようです。オープンソースで無料で利用でき、Windows、Mac、Linux の各 OS のパッケージがあります。

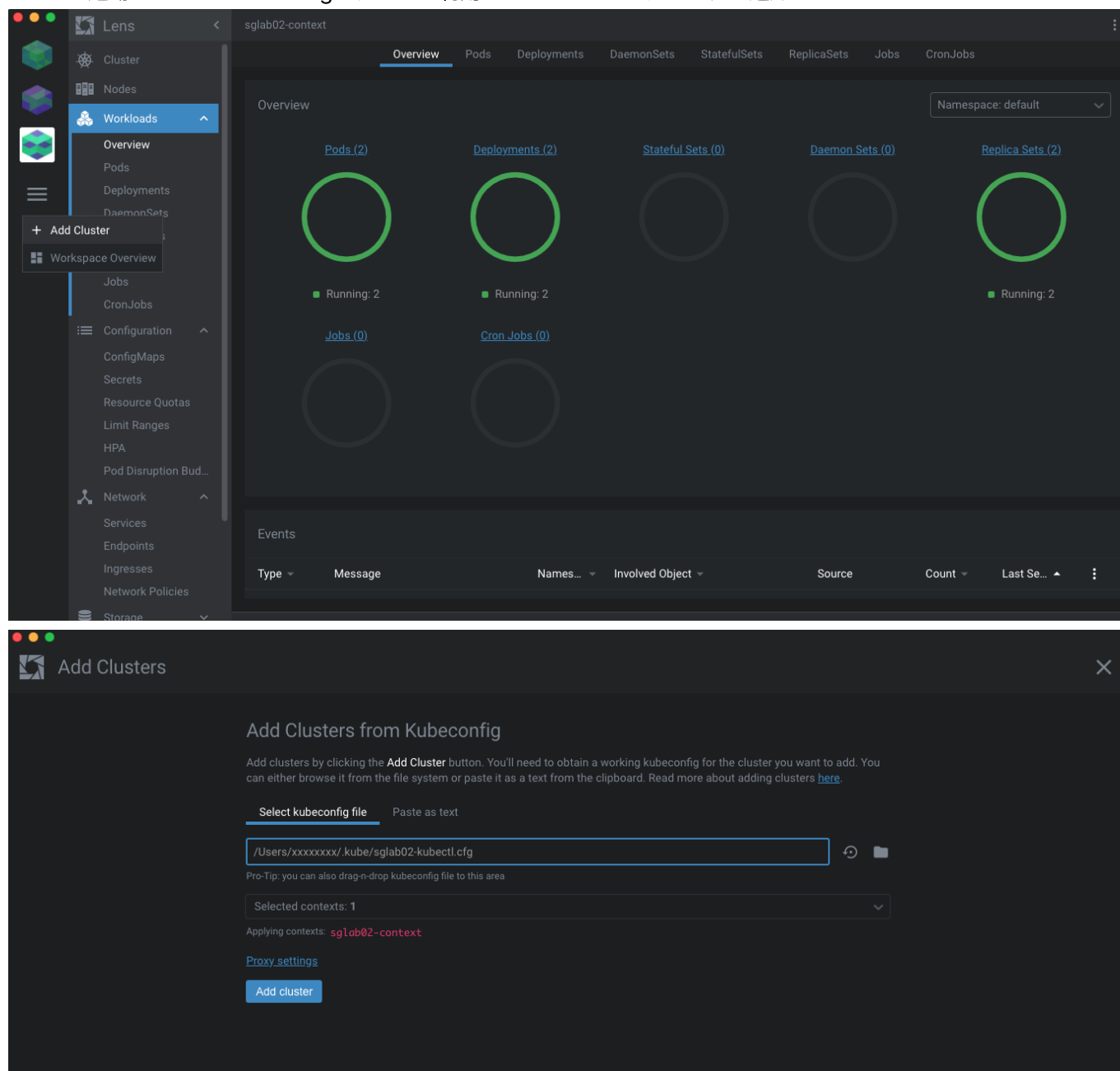
- 公式サイト: <https://k8slens.dev>
- Github: <https://github.com/lensapp/lens>

インストール

公式サイトからダウンロードしてからインストーラを実行する

初期設定

LENSを起動してからkubeconfigファイルを利用してkubernetesクラスタを追加



Workload:

